

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 儲ける農業経営者育成支援事業費（R8実施分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業経営課 担い手対策室 電話番号：058-272-1111（内4090）
就農支援係 E-mail：c11419@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 3,800 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	3,800	1,900	0	0	0	0	0	0	1,900
決定額	3,800	1,900	0	0	0	0	0	0	1,900

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・資材高騰等の影響で農業者は厳しい環境に直面しており、中でも初期投資が大きい新規就農者は、就農計画の所得目標の達成も困難な状況にある。
- ・新規就農者が早期経営安定し、さらに発展を目指すためには、厳しい経営環境下においても儲けられる経営力の習得が必要。

(2) 事業内容

経営の見える化により、農業者が自身の経営を把握し、課題解決等に向けて経営力強化を図る環境を整える。

○経営の見える化

- ・産地を対象とし、農業簿記データに基づいた経営診断を実施。産地内の農業者各々の経営を把握する。
- ・新規就農者を対象とした経営診断を実施。現状の把握により、経営計画の実現に向け、自身の経営を見直すきっかけとする。

○経営改善研修

- ・産地には、産地全体の経営状況を他県との比較等によって知る研修を実施。今後の産地維持、発展に向けて考えるきっかけとする。
- ・新規就農者には、経営者として必要な経営管理の基礎知識の強化を図る研修を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

※地方創生推進交付金（地域未来交付金）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,800	研修会運営等委託
合計	3,800	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
II 3 (3) ①農林畜産業を支える人材の育成・確保
- 「ぎふ農業活性化基本計画（仮）」に位置づけ予定

(2) 国・他県の状況

個人経営の経営発展の支援や農業法人の経営基盤の強化策として、農業者の経営管理能力の向上等を促進する施策を実施。

(3) 後年度の財政負担

食料の安定供給の持続のためには、経営体の所得向上、経営力向上が必要である。

(4) 事業主体及びその妥当性

県で取り組む新規就農者の確保・育成のため、農業者の経営力向上を目的に実施する研修であり県が事業主体となることは妥当である。

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
経営力の高い農業者の育成により、農業の新たな担い手を育成する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R6)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
①新規就農者数 (独立自営・雇用の合計)	384	384	360 [累計] 360	360 [累計] 720	累計 1,800	—

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 5 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 6 年 度	・農業者の所得向上に向けて、会計データの分析に基づいた経営の見える化と課題解決ための経営力強化研修を実施 事業実施 農業簿記データ活用研修：2組織（31名） 経営力向上研修：3経営体
	指標①(担い手育成数(単年)) 目標：440 実績：608 達成率：138 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	資材高騰により厳しい経営環境が続いている状況で、経営力を強化し所得の向上につながる研修環境の整備が必要。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	経営力強化のための手法の習得により、新規就農者の早期の経営開始時の経営安定とさらなる発展につながり、地域の中心農業経営体の育成に有効である。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	新規就農者や産地を対象として経営力強化を図ることで、農業者全体の経営力の底上げとなる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

資材高騰等の厳しい経営環境の中、戦略的に稼ぎ、自らの力で経営安定・発展が実践できる農業者が求められている。学びの環境を整備することで、農業者の経営力強化を支援する。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
経営診断による経営の見える化をきっかけに、経営について考える機会を創出する。課題解決を考える農業者の支援のため、経営力強化の手法を学べる研修を継続する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	